

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（生活環境コース）

項目	生活環境	対象学年	2年	場所	学習室3・4
テーマ	里山の保全に市民が果たす役割				
講師	兵庫県立南但馬自然学校校長（兵庫県立大学名誉教授）服部 保				
<p>講義内容</p> <p>昭和30年代まで燃料供給の場として利用されてきた里山林は照葉樹林という自然林（現在太山寺や再度山に残存）を破壊して作られたものです。その里山林も燃料革命以降放置されて50年以上経過しました。シルバーカレッジ周辺に広がっている里山林も実は里山林ではなく、里山放置林となってしまいました。照葉樹林、里山林、里山放置林の違いはどこにあるのでしょうか。また里山放置林を放置し続けると、どのような樹林になるのでしょうか。里山放置林を子供達の体験学習の場や市民の生涯学習の場として、あるいは減災効果を上げるよう整備しなくても良いのでしょうか。これらの問題についてお答えします。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>子供達の体験学習・自然学習のために身近な里山放置林を整備することはたいへん重要です。里山放置林の整備を進める前に、まず里山林を学びましょう。</p>					